

一 () () に合う言葉を下の□から選んで、
慣用句かんくを作りましょう。(10点×8問)

(1) () 歯 () がたたない …… かなわない

(2) () 鼻 () が高い …… じまんと思う

(3) () 手 () をかす …… 手伝う

(4) () 顔 () が広い …… 知り合いが多い

(5) () □ () をつぶむ …… だまってしまう

(6) () 耳 () がいたい …… 弱点をつかれてつらい

(7) () 足 () を運ぶ …… わざわざ出かける

(8) () かた () を落とす …… がっかりする

いくつかの言葉が組み合わさって、新しい意味をもつ
ようになった言葉を慣用句かんくというよ。



顔	手	鼻	歯
足	□	耳	かた

点

二 右に出てきた慣用句かんくを使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】足がぼつになる ↓ 山登りをしたので、足がぼつになった。

(1) (例) リレーの選手になれず、かたを落としていた。

(2) (例) テストでいい点をひいて、鼻が高い。

一 () () に合う言葉を下の口から選んで、

慣用句を作りましょう。(10点×8問)

点

(1) () 油 () を売る くだ話をして時間をすらす

(2) () いき () をのむ おどろく

(3) 話 () 花 () がさく 会話がはずむ

(4) あとの () まつり () 手おくれ

(5) () 道草 () を食う むだな時間を使う

(6) () 馬 () が合う 気が合う

(7) () うら () にっ 顔かたちがよくにている

(8) () 雲 () をつかむ とらえどころがない

分からない慣用句は
辞書で調べてみよう。



二 右に出てきた慣用句を使った文を考えましょう。(10点×2問)

【例】借りてきた猫 ↓ 弟が、借りてきた猫のようにおとなしかった。

(1) 目の前の美しい風景に、心をのむ。

(2) 宿題をしないで遊びに行ったことをこうかいしても、あとの
まつりだ。

馬	うり	油
	道草	雲
まつり	花	いき